



「今、『終戦の詔書』を聴く」に参加して

先月の代田九条の会の事務局会議で、8月29日(日)に代沢東地区会館で代沢九条の会の催しとして、表題をテーマとする集会がある旨のチラシを見て、テーマに興味があったので参加してみることにしました。当日は、十数人の方の出席で定刻1時半からNHKハイビジョンビデオの「あの日」昭和20年の記憶—8/1~8/31のニュース(毎日の新聞記事など)や「昭和20年8月15日・玉音放送を阻止せよ」陸軍近衛師団などを1時間程視聴。その後、皆でそれらに関する感想などを話し、時のたつのを忘れてましたが5時近くに散会しました。

呼びかけの趣旨は、「8月にちなみ、65年前の8月15日の「終戦詔書=天皇の玉音放送を聴いて当時を思い起こし、皆さんそれぞれの命と暮らしの歴史を振り返り、戦後の移り替りを確かめ、そして、今を考えてみます。」でした。資料として、小森陽一著「天皇の玉音放送」のレジメ、「大日本帝国憲法」「教育に関する勅語」「国体の本義——文部省刊行」「治安維持法」「米英への宣戦の詔書」「カイロ宣言」「ヤルタ協定」「ポツダム宣言」「終戦の詔書」「天皇の人間宣言」など原文の資料が配布され、私にとっては、貴重で有り難いものでした。

私自身は、昭和20年当時中学1年生であったが、玉音放送については、何の連絡もなく全く知らなかった為、聴いてはいなかった。しかし、その日のことは良く憶えている。というのは、その日は旧盆で、私はその年に戦死した従兄の初盆の法事に出席する為、従兄の家に出水海軍特攻基地(阿川弘之の「雲の墓標」の舞台にもなったところ)の外周道路を歩いて行った。

その日は空襲も無く異様に静かであった。更に、夕方同じ所を通ったところ、基地の庭で書類が何か燃やしているらしく静まりかえった中に煙が立ち上っていた。今日はおかしいなと思い帰宅したところ、戦争が終わったらしいと聞いた。聞いてもさほどの興奮もなく、それまで空襲で散々やられていたので「なる程な」と思った訳である。その後、進駐軍が基地にやってくると聞いて、皆で荷車を引いて山奥に逃げこんだりした記憶はあるが・・・。

話を本題に戻すと、当日は、比較的高齢の方が多かったので、それぞれの方の当時の体験などが話され、その話が、テーマに結びついて稔りのある集いとなり、参加して本当に良かったと思った次第である。

野間口 至(代田5丁目)

朗読劇「月光の夏」を観て

「朗読劇『月光の夏』のチケットがあるけど」とすすめられた時、私は以前本や映画も見ていたし、朗読劇で表現できるのだろうかと思いましたが、九条の会の取り組みでもあり、他に予定もなかったので、8月13日北沢タウンホールでの劇団東演の朗読劇「月光の夏」を観に行きました。会場はほぼ一杯の人でした。朗読劇は初めての観劇でしたが、たった4人の朗読者とピアノ演奏だけの舞台なのに、そこに映像が見えるような素晴らしい演技にどんどん引き込まれ、ほんとうに感激しました。

物語は戦後45年たって佐賀県鳥栖小学校の古いグランドピアノが廃棄されようとした時、なんとか残したいという元音楽の先生の話から始まります。出撃前の最後の思い出にピアノを弾きたいと小学校を訪ねてきた若き特攻隊員。月光の曲を弾き、翌日出撃し戦死してしまった若者を思うと、どんなに生きたかっただろう、22歳の若さで死ななければならなかったのかと思うと、ほんとうに悔しい。また、エンジン故障で生きて戻ってきた特攻隊員には、一度死んだものとして収容施設に隔離され、肉親に連絡をとることも許されず、非人間的な扱いを受ける。戦争は人間を人間でなくしてしまう。いま、私達は平和憲法のもと、はからずも戦争のない国に住んでいるが、平和がいかに大切か、それを守っている憲法九条を変えようとする動きはなんとしても阻止しなければと強く思いました。

最後にピアノ生演奏での「月光」の曲を聴け、ほんとうに満たされた気分になりました。とても良い時間を過ごすことができました。

俣野 敏(代田4丁目)

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、

「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～

+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++

代田・九条の会 2周年記念のつどい

一昨年11月の発足から、2周年を迎えます。下記のように、記念のつどいを開催しますので、お誘い合わせて、ぜひ、ご参加ください。(参加費500円)

とき : 11月3日(水・文化の日) 13:30~16:00ころ

ところ : 東京都民教会 (世田谷区代田5-35-2)

講演 「世界から見た憲法九条」(仮題) 伊藤 千尋さん(ジャーナリスト・朝日新聞)

1949年山口県生まれ。東大法学部卒。

1974年朝日新聞社入社。外報部などを経て、サンパウロ支局長、バルセロナ支局長を歴任。

2001年にはロサンゼルス支局長として、9・11後のアメリカ社会を精力的に取材。現在、朝日新聞「be」編集部所属、「うたの旅人」など担当。

朗読 劇団東演メンバーによる

地元・代田1丁目で活躍している「劇団東演」のみなさんによる朗読(詳細計画中)。

劇団東演は1959年、故・八田元夫(1976年没)、故・下村正夫(1977年没)の両演出家を中心に東京演劇ゼミナールを発足。1962年に現在の「劇団東演」となる。

1978年に現在の地に本拠を移して「パラータ」という小劇場を造り、そこで精力的に上演活動を続けています。 ホームページ : <http://www.t-toen.com/index.html>

集会等の紹介

10月3日(日) 13:30~16:00

講演「井上ひさしさんの多面体のひとつに触れて」 高橋 至さん(編集者)

<<第24回 憲法九条のつどい>>

会場 弦巻区民センター 第3・4会議室 参加費 : 300円

主催 弦巻・新町地域「九条の会」(連絡先 Tel 03-3425-1065)

10月16日(土)~17日(日) 10:00~17:00(17日は16:00まで)

展示「憲法9条は世界の平和への希望」

<<烏山区民センター第13回文化祭>>

会場 烏山区民センター3階 第7会議室

参加 憲法9条を愛する烏山地域の会(連絡先 Tel 03-3309-5776)

11月13日(土) 11:00~20:00

東京・9条まつり 成功協力金1000円

会場 大田区産業プラザP I O(大田区南蒲田1-20-20:京浜急行蒲田駅東口)

主催 実行委員会(連絡先 Tel 03-3239-6716)

お願い:ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。

代田・九条の会 資料集 「憲法記念日によせて お話と歌のつどい」

5月8日の「つどい」の資料集ができました。当日、嬉野さんの使用された写真などを掲載しています。

1部:500円 ご希望の方は 伊東まで(Tel/Fax 03-3411-9179)



日本国憲法

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない